

そのけん ニュース

討議資料

発行

自由民主党千葉県
第五選挙区支部長

前衆議院議員

そのうらけんたろう
蘭浦健太郎

平成24年(2012年)
No.24-01

年頭に寄せて まずは復興を最優先

2012年が始まりました。課題は山積。震災からの本格的な復興が始まります。まだまだ途上であり、復興、そして新しいエネルギーのあり方も探らねばなりません。それに加えて、総合的な景気・雇用対策、外交・安全保障の建て直しを喫緊の課題として取り組んでいかねばなりません。

デフレの悪影響

景気の低迷は税収の悪化のみならず、雇用情勢の悪化、ひいては社会的な不安を招きかねません。その根本原因は未だデフレから脱却が出来ていないことにあります。

デフレとは、需要が減って、モノの値段が下がること。企業の収益が上がらなくなり、給料が上がらず、雇用も増えない。そこで益々、需要が減り、モノの値段が下がっていくという悪循環。これを止めねばなりません。

円高の原因もデフレにあります。金利が安くても、デフレ下においては、物価が下がるために実質的には金利がついているのと同じこととなります。

欧米が名目上の金利を経済政策として下げ続けているため、日本と欧米の名目上の金利差はなくなっています。一方、わが国だけがデフレ状態にあるため、実質的な金利はわが国が高い。従って、欧米の貨幣よりも円が買われることになり、円高の状況を作り出しています。輸出企業が大変な打撃を受けています。



前衆議院議員

そのうらけんたろう
蘭浦健太郎

自由民主党千葉県
第五選挙区支部長

あだ名は小学校からずっと「そのけん」です。

地元事務所 〒272-0021 千葉県市川市八幡2-16-20-203

☎047-318-1001 Fax047-336-8801

E-mail sonoura@au.wakwak.com ホームページ <http://www.sonoken.org>

緩やかなインフレを目指すべき

わが国経済は緩やかなインフレを目指すべきです。物価も緩やかに上昇し、給料もそれに見合っ上がる。そうした経済状況を作らねばなりません。それには通貨の供給を増やすことが第一です。

ただ、デフレ下においては、いくら日銀が供給をしても、借り手がいません。結果的に街中に通貨が供給されず、デフレがストップすることはありません。多くの対策を打ち出しているにもかかわらず、民間銀行では150兆円もの預金超過状態にあることが、それを物語っています。

需要を作り出すには、震災復興や防災、老朽化で危険になったインフラの更新を集中的に行うべきです。こうして経済が成長軌道に乗れば、生活も豊かになる。税収も増える。まずは政策を総動員してデフレを脱却せねばなりません。

外交の正念場の年

昨年末、北朝鮮で突如、指導者の交代がありました。当時の官邸の対応も検証せねばなりません。まずは動向を注視していかねばなりません。

今年は1月の台湾総統選挙に始まり、日本外交の上で非常に重要な国々でトップの選挙、または交代があります。春にはロシアとフランスの大統領選挙。そして、秋以降に中国の指導者交代、アメリカ、韓国の大統領選挙が予定されています。少なくとも、今後4年に渡って、こうした国家の顔となるべき人物が決定される年です。

わが国も、本格的な政権を作らねばなりません。そして、その政権は明確な国家観とビジョンを持たねばなりません。そして、その政権を支える政党には、党として目指すべき方向性、綱領を持っていなければなりません。今後5年、10年の国際社会におけるわが国のありようが決まる年といっても過言ではありません。日本の歴史を踏まえつつ、閉そく感を打破するために全力を尽くして参ります。
